

4. 産業振興関係

1) 中心市街地活性化関連

(具体的な意見や質問) 【中須賀公民館】【野口ふれあい交流センター】

近鉄跡地の今後は、どのようになっているのか。
議会としては、どのような対応を考えているのか。

(議会として考え方や回答)

議会としても近鉄跡地は、中心市街地の活性化において、重要な位置を占めていると考えています。

議会としても早い段階で、意見を集約して契約者に伝えていきたいと思います。

現在、具体的な開発計画について、民買された企業からの提案はありません。
行政（執行部）と議会が共に、監視する必要があると認識しています。

民間の開発計画については、行政（執行部）としての規制範囲は限られたものになると思われます。

今後、企業から地域住民や行政（執行部）に説明があると思いますので、その経緯により、議会としても意見等を伝えていくことになると思います。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

近鉄跡地は、福岡市の不動産会社を取得いたしました。今後は一時的に駐車場として利用しながら、具体的な用途を検討する意向ですが、街の活性化につながるよう市の要望を伝えていきたいと考えています。

2) 企業誘致関連

(具体的な意見や質問) 【小坂公民館】

企業誘致が進んでいない。
観光施策も良いが、定住できる施策を推進してほしい。

(議会として考え方または回答)

ご意見として、承ります。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

最近では平成26年4月より、おおいたLSIクラスター構想の企業誘致により、半導体、半導体検査機械の設計を行うエムエスアイ(株)が支店を開設しました。また、平成26年2月にCYBERDINE(株)の子会社大分ロボケアセンター(株)が太陽の家内に設立されました。

今後も企業誘致を推進していきます。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

移住・定住の促進のため、今年度転出入者及び市外居住者に対するアンケート調査を行います。アンケート調査を基に、平成28年度から始まる別府市後期基本計画に反映させるとともに、具体的な施策について検討を行います。

3) 観光対策関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

観光都市として、宿泊者数の減少に歯止めをかけてほしい。
働く場所をつくる街づくりを行ってほしい。(雇用創出施策)

(議会として考え方や回答)

ご意見として、承ります。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

宿泊観光客数は、過去3ヶ年を分析しますと、平成23年は東日本大震災の影響からか宿泊客が減少したものの、平成24年は回復し、さらに平成25年は様々な事業を実施したこともあり、宿泊数が前年度を超える見込みとなっています。

平成26年は、消費税の増税もあり今後の動向を注視しながら、引き続き誘客事業に努めたいと思います。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

別府市では雇用創出の基金を活用しました緊急雇用創出事業として、平成21年度～平成25年度の5ヵ年間で、561名の新規雇用を創出してまいりました。

今後も同基金を活用した雇用や在職者への処遇改善の支援に取り組んでまいりたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【古市公民館】

今年度（平成26年度）の観光関連予算が少ないように感じられる。

別府市は、観光都市だ。

「誘客プロモーション事業」の成果は、あったのか。

（議会として考え方は回答）

このことについては、議会の本会議において、行政（執行部）に質問をいたしました。行政（執行部）からは、集客効果や経済効果があったことが、具体的数値を示した上で、答弁がありました。

しかしながら、疑問が解決したとは、考えておりません。

事業の成果は、中・長期的な立場に立って事業を展開する必要があるとの意見もあり、今年度（平成26年度）は内容を変えて実施することを議会も承認した次第です。

議会としても、今後の状況を見極めつつ検証する必要があると認識しています。

（別府市の回答及び対応状況）<ONSENツーリズム部>

誘客プロモーション事業につきましては、具体的な数値として、次のとおりとなっています。

- 事業全体での誘客数で推計：約100,000人
- ビーコンプラザ芝広場のドーム設置期間中の来場者数は60,124人
その来場者内訳で44都道府県、海外10カ国
- 山の手中学校で開催したプロジェクションマッピングは5日間で11,020人
- 11月～1月の3ヶ月間で536,000回のアクセスがあったことに代表される新たな情報発信による若い年齢層の観光客の波及
(参考：別府市公式ホームページ観光ページ同月同期間で34,438アクセス)

次に、事業実施に伴う波及効果として

- 別府市旅館ホテル組合のアンケート調査から、ドーム開催期間中の11、12月の宿泊者の占める19歳以下の割合が前年度から120%、10代から40代までの宿泊者の年齢層で160%の伸び
- プロモーション事業を開催したことによる民間の若い方たちによる自主的イベントの開催と人材の発掘
*自家用車にペインティングを施した俗に言う「痛車」と呼ばれるペインティングカーの展示会やアニメソングのライブ開催

以上の様に別府市が有する既存の観光資源を活用しながら観光都市として付加価値を付け、これまでとは異なる手法による新しい魅力による観光客、特に宿泊客の誘致を図る目的で実施したことにおいて、一定の成果があったものと考えています。

但し、今後大きな成果に結びつける為にも事業実施の結果検証、分析等をしながら事業展開に取り組んでいきます。

（具体的な意見や質問） 【古市公民館】

別府市は、全国的に見ても地域資源に恵まれた地域だと思う。

しかし、国内外に対してのPRが不足していると感じている。

議会・行政（執行部）・市民が一体となって、新しい組織を作り積極的なPRを行うべきだ。

（議会として考え方や回答）

魅力ある街をPRして、若者の定住を促進することは、人口減少問題を考えても、重要なことと認識しています。

温泉資源に関しては、沢山ありすぎて集中的な整備ができていないのが現状です。

今後、地域の特色を活かした温泉施設整備やPRを行っていく必要があると考えています。

また、核となる温泉施設や文化施設等を整備することも課題だと考えています。

国際観光港等は、十分な活用ができていないと感じています。

その活用案として、「道の駅」を整備すれば、観光施設の核になるという意見もあります。

しかし、予算等が関係することですので、行政（執行部）に意見を伝えてまいります。

（別府市の回答及び対応状況）<ONSENツーリズム部>

日本一を誇る「温泉」を有する観光資源の最大限に効果的な活用を図りながら各々の特徴を併せて、旅行者や求めるニーズに魅力を加えながら満足する観光都市として誘客を図ることは大変重要なことであり、そのために各関係者並びに観光関係団体をはじめとした様々な方々との協力、連携は不可欠です。

今後の様々な状況や機会を相互間で情報共有しながら、観光客の誘致と都市の活性という一つの目標に対して積極的に取り組んでいきたいと考えています。

（別府市の回答及び対応状況）<ONSENツーリズム部>

市営温泉のうち、13施設は「指定管理者制度」により民間団体等が管理運営を行っています。

既存の市営温泉施設でも、各施設の地域性や特色を活かして運営を行っています。

砂湯、むし湯など、湯につかる以外の入浴方法を体験できる施設もあります。また、健康増進のための水中運動を行うことができる施設では、健康教室の開催などの事業展開を図っています。

さらに、鉄輪地区では「地獄蒸し工房鉄輪」と「鉄輪むし湯」を中心に温泉街の町並みを観光客が周遊し「食」「癒」を楽しめるような整備がなされています。

今後既存の施設とのバランスもとりながら、また「道の駅」のような観光施設と連動できるような温泉施設についても検討していきたいと考えております。

（具体的な意見や質問） 【古市公民館】

市営温泉で、アルコールの販売を行ってほしい。

アルコールがだめであれば、ノンアルコールのお酒を置いてほしい。

入浴後の一杯は、最高の贅沢であり、観光都市の「おもてなし」として、取り組むべきだ。

（議会として考え方はまたは回答）

難しい問題と考えています。

ご意見は、行政（執行部）にお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況）<ONSENツーリズム部>

現在市営温泉のうち13施設では「指定管理者制度」を導入し、民間団体等が管理運営を行っています。

指定管理を行う団体は「自主事業」として自動販売機の設置や物品の販売等を行うことができることになっています。

アルコール類の販売に関しては、市が特に規制を設けることはしていません。

販売するにあたり、施設に掲示することとされている、入浴上の注意事項で「飲酒しての入浴は特に注意すること」とされており、入浴前に飲酒を行った利用者の体調管理に関する注意について一層念入りに行うことや、飲酒した利用者同士のトラブルなどの対策などの課題はありますが、アルコールの販売は可能と考えます。今後アルコールの販売について、ご意見を承ったことを指定管理者に周知するなどしていきたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

誘客プロモーション事業とは、どのような事業なのか。

（議会として考え方はまたは回答）

若い世代や海外で関心の高い、アニメを活用した観光事業です。

従来（中高年）の方ではなく、若い年齢層を対象に事業を実施することにより、集客の幅を広げることを目的としています。

継続することにより、効果がでる事業と考えています。

（別府市の回答及び対応状況）<ONSENツーリズム部>

これまで別府市が有する「温泉」「風景」「おもてなし」等の癒しの空間と素晴らしい観光素材にさらなる付加価値をつけ、また別府市を訪れる旅行の動機付けを新たに見出すことで、他市には無い様々な選択肢の中で別府市への誘客、特に宿泊客の誘致を図るものであり、ある意味部分的には、これまでのイメージからの脱却と新たなスタートとして定着させていくものと考えています。その中で、これまで別府市が弱いとされた若い年齢層に対する誘客を想定しながら、そのものの波及や情報が世界中のファンや各ネットワークを通じて大きな広がりを実現できる「アニメキャラクター」による別府市の魅力を紹介することで、既存する観光素材を違った魅力で伝え、新たな観光客の誘致を図れることを目的とした事業です。

（具体的な意見や質問） 【扇山公民館】

湯布院は、若い観光客も多く、別府市は観光面で乗り遅れていると思う。

（議会として考え方は回答）

従来より、別府市は歓楽街、湯布院は自然を活かした奥座敷というイメージがあります。湯布院は、建物等の規制により町並みを整備しましたが、別府市は街づくりに対する規制を行わなかった

地域を決めて、集中的に整備する必要があると認識しています。

（別府市の回答及び対応状況） <ONSENツーリズム部>

別府市の特徴といたしましては、古くから湯治場として栄えたことから、観光客の年代は比較的高いものと思います。

こうしたことから、若年層やファミリー層の誘客対策として、平成25年度は誘客プロモーション事業、インターネット広告宣伝事業に取り組みました。

各観光都市は、それぞれの特徴や魅力がございますので、単純に比較はできませんが、今後とも別府温泉の独自の魅力が発揮できるよう、様々な事業に取り組みたいと思います。

（具体的な意見や質問） 【扇山公民館】

オリアナ号栈橋を釣り場として整備してほしい。

（議会として考え方は回答）

オリアナ号栈橋は、老朽化が進んでおり再利用するには、予算がかかります。

また、釣り場の安全や駐車場の確保等の整備を行わなければならないと考えています。難しい問題と認識しています。

（別府市の回答及び対応状況） <建設部>

旧オリアナ号栈橋は餅ヶ浜栈橋として名称を変更し、日中の8時から17時までは誰でも利用できるよう一般開放しており、朝夕の散歩やランニングなど利用されています。

現在、栈橋は、建設後約27年が経過し、老朽化が見受けられますので、栈橋の長寿命化計画を基に年次計画で補修補強を行っています。なお、つり栈橋への再整備は、将来的な利活用方法の一つとして有効ではありますが、多額の費用が見込まれるため、栈橋の有効利用について今後とも考えてまいりたいと思います。